

ふれあい情報

2025年2月27日(木) 第393号

■発行 日本退職者連合
 ■発行人 野田那智子
 ■連絡先 〒101-0062
 東京都千代田区神田駿河台3-2-11



日本退職者連合
 HP QRコード

<TEL> 03-5295-0507 <FAX> 03-5295-0541 <e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp

2025年全国事務局長会議を開催

2月12日(水) 連合会館3階A・B会議室 13:30~

2月12日(水)、退職者連合は全国事務局長会議を開催し、この間 各組織で取り組んできた「自治体要請行動」および「選択的夫婦別姓早期実現の団体署名」の中間報告が行われ、「第217回通常国会に向けた要求」、「組織拡大・強化の取り組み」および各種取り組みについて確認しました。

終了後に、「フードバンクかながわ」の藤田事務局長を講師に学習会を実施しました。その後、第27回参議院選挙に向けて、「政治の流れを変える！2.12総決起集会」を開催し、候補予定者本人(ビデオ)および擁立組織の決意表明を受け、一丸となって取り組んでいくことを確認しました。翌日は、政策・制度要求実現に向けて、衆議院第1会館において、院内集会を開催して今後の行動とアピールを採択しましたので、その概要について報告します。



人見会長の開会挨拶 (連合会館3階A・B会議室)

人見会長あいさつ

新たな政局
 1月24日から開催されている第217回通常国会で、2025年度の政府予算案について議論が行われていますが、昨年の衆議院選挙に

おいて、少数与党の状況を作り出したことよって、私たちの求める様々な課題が、国会の場で議論される状況が生まれたと思います。今年の参議院選挙でも与党を少数にすることによって、私たちが求める政治により近づくと思っておりますので、産別や地方組織における取り組みをよろしくお願いたします。

アメリカ政治

トランプ大統領と石破首相の会談が行われたが、日本の立場や状況について主張が足りなかったと感じている。アメリカ政治やトランプ大統領に対して、国際秩序などを含めて、日本政府の立場として発言していくことが重要であると感じている。

核兵器廃絶に向けて

今年は戦後・被爆80年となり、核兵器廃止や平和を求める運動が一層強化されることとなる。来年ニューヨークで開催される「核拡散防止条約(NPT)再検討会議」に向けて、連合として

核兵器廃絶の個人署名を取り組むこととしています。退職者連合も署名活動に全力で取り組んでいきますので、皆さんの協力をよろしくお願いたします。

連合本部

北野副事務局長 あいさつ



連合として、2025春季生活闘争において昨年を上回る

賃上げ、物価を上回る賃上げを目指して取り組んでいく。そして賃上げを広く社会に浸透させる取り組みを継続していくこととしている。さらに、政治情勢を鑑み、働く者に直結する政策実現に向けて国会対策等を進めていく。今年、都議選をはじめ参議院選挙などが行われるが、連合推薦候補者の必勝と連携する政党に対して国民の負託に応え得る基盤強化を図るよう求めていきたい。来年の「NPT再検討会議」に向けて、連合100万署名を取り組むので皆さんの御協力をよろしくお願いたします。

**報告・提案事項を
全体で確認**

議事次第に入り、地方退連組織における自治体要請行動の取り組み状況の報告を受け、追加報告を含めて承認されました。

つぎに「第217回通常国会に向けた政策・制度要求」および組織強化・拡大の取り組み、選択的夫婦別姓の団体署名の取り組み等について提案され、政策・制度要求、

取り組み方法、会議日程などに対する質疑・答弁を含めて全体で確認して終了しました。

発言をしていただいた皆さん、ありがとうございました。



【今後の主な取り組み】

1. 2025年通常国会に向けた政策・制度要求の取り組み

「第217回通常国会に向けた要求」を関係省庁および友好政党への要請行動を取り組んでいきます。

2. 組織強化・拡大の取り組み

退職者連合会員への情報共有の取り組みを進めていきます。具体的には、退職者連合の活動内容やホームページ掲載内容を会員の皆さんに共有してもらうための対策を進めていきます。

3. 「選択的夫婦別姓早期実現の団体署名」の取り組み

現在取り組み中の団体署名の取り組み要請と内閣府特命大臣及び法務大臣に提出するための準備を進めていきます。

4. 2025年全国高齢者集会に向けて

2025年9月18日に開催する「2025年全国高齢者集会」に向けて準備を進めていきます。

学習会を開催

テーマ「もったいないを

「分かち合い」へ「ありがとう」へ

講師 「フードバンクかながわ」

藤田 誠 事務局長



全国事務局長会議事終了後に学習会を開催しました。

「フードバンクかながわ」の設立目的から10年に渡る活動内容の成果や課題などについて、幅広く説明していただきました。

とくに日本の貧困率の高さ、フードバンクや子ども食堂がまだまだ少なく、もっと発展させていかなければならない状況である。また、家庭や外食産業における食品ロスが非常に多いということでした。

「もったいない」《食品ロスを減らし、食べ物の価値を活かす》、「分かち合い」《フードバンクを通じて、地域の助け合い・支えあいを実現》、「ありがとう」へ《生活に困っている人・社会的に弱い立場にある人々の食のセーフティネットを目指す》をキーワードに今後も継続・発展させていくことで、ひとりでも多くの「ありがとう」へ繋げていくことが重要ということでした。

～ 政治の流れを変える！2.12総決起集会 ～

2025年2月12日 18:00～ ホテルルポール麹町

第27回参議院議員選挙に勝利し、平和と民主主義を守り、安心して暮らせる社会を若者へつないでいくため、退職者連合推薦全候補者（比例・選挙区）の必勝に向けて、全国事務局長会議出席者を中心に約100名の参加者による総決起集会を開催しました。



集会は、人見会長の参議院選挙に臨む決意と挨拶から始まり、比例区推薦予定候補者10名（ビデオ）と推薦組織代表者から決意表明が行われました。さらに、47地方退職者連合を代表して東京高退連の遠藤会長から全国で取り組みを展開していく決意を受け、最後に北海道退連峯後会長の閉会の挨拶で候補者全員必勝のためにそれぞれの組織で取り組んでいくことを確認して総決起集会を終了しました。



候補者推薦組織を代表してあいさつをする皆さん

候補予定者届け出名	推薦組織	候補予定者届け出名	推薦組織
田村 まみ	UAゼンセン	小沢 まさひと	JP労組
いそぎ 哲史	自動車総連	みずおか 俊一	日教組
岸 まきこ	自治労	浜野 よしふみ	電力総連
平戸 航太	電機連合	吉川 さおり	情報労連
郡山 りょう	JAM	もりや たかし	私鉄総連

2025年通常国会に向けた

政策・制度要求実現

2・13院内集会を開催

2月13日(木)、退職者連合は第217回通常国会に向けた政策・制度要求実現院内集会を衆議院第一議員会館多目的ホールにおいて開催しました。連合から北野副事務局長および政
党代表も連帯・激励のあいさつに駆けつけていただきました。また、連合本部の佐保総合政策推進局長による「第217回通常国会における予定法案(社会保障分野)」についての講演が行われました。



院内集会参加者の皆さん(衆議院第1議員会館多目的ホール)



司会の増田副会長

集会は、増田喜三郎副会長の司会により始まりまし
はじめに政策・制度要求実現院内集会の主旨および産別・地方退職者連合の全国からの参加者の紹介と御礼を述べた後、次第に沿って進められました。

人見会長あいさつ



主催者代表の
挨拶をする人見会長

予算委員会の審議も山場に差し掛かっているが、裏金問題については、いまだ真相究明されないままであり、政治に対する信頼が揺らいでいる状況です。国会では、ぜひ国民の生活を最優先した議論を進めてもらいたい。
物価が上がり実質的に生活が低下している状況を少しでも改善するような議論を野党の方々に期待をしていきたいと思っています。
私たちも、選択的夫婦別姓制度早期実現や政策・制度要求実現に向けて、関係省庁や友好政党への要請行動を展開していきます。
今年7月に予定されている参議院議員選挙は、非常に重要な選挙になると思っています。昨年の衆議院選挙で与党が過半数割れとな

り、今年の参議院選挙でも同様の状況を作り出して、解散総選挙で政権交代につながる事が、私たち退職者連合の要求実現に欠かせないことであり、産別・地方組織の皆さんと一丸となつて、参議院選挙を取り組んでいきたいと思っています。

今年、戦後80年・被爆80年で平和と民主主義を守る取り組みは、非常に重要な節目の年であります。
ロシアによるウクライナへの侵攻やイスラエルとハマスの戦闘によって多くの命が犠牲になっています。これ以上の犠牲者を出さないためにも核兵器廃絶に向けて、「核兵器禁止条約」を何としても実効性のあるものにしてはなりません。来年の「NPT再検討会議」に向けて、連合の100万署名に全力で取り組んでいくこととします。
私たちが地域で安心して暮らせる社会の実現のために、皆さんとともに取り組んでいくことを申し上げて主催者の挨拶といたします。

来賓あいさつ

連合 北野副事務局長



退職者連合の皆さんのご協力をいただき、昨年の衆議院選において、与党を過半数割れに追い込み緊張感ある国会運営を実現することができました。

ようやく正常に戻ったというのが正しい表現であると思っております。

第217回通常国会の開会直後から、野党の頑張りによって激しい論議が繰り広げられていますが、働く者、生活者、納税者の立場に立った政策の実現を図る大きなチャンスと捉えて、引き続き国会論戦に臨んでいただきたいと思っています。
連合は、2025年度予算、税制改正関連法案、年金制度改正法案等、働く者、生活者の暮らしに直結する重要

法案16本に対する考え方をまとめました。

今後、連合推薦議員をはじめ立憲民主党、国民民主党の政務調査会との意見交換等を通じて国会対応を図るとともに、あらゆる媒体と行動を通じて世論形成を図っていきます。

また、戦後・被爆80年の平和運動の様々な取り組みを進めていきますので、退職者連合の皆様のご協力をお願いいたします。

立憲民主党 野田佳彦代表

日本退職者連合の皆様には、昨年の衆議院選挙では全国各地で本当に多大なご支援をいただき深く感謝申し上げます。

与党過半数割れによって、大変緊張感のある国会運営になってきました。政府提出の予算案の修正も28年ぶりで、しかも数字の修正は69年ぶりです。それだけ大きく国会の風景が変わり、当たり前のことがようやく日本でも始まったので、しっかりとその結果を出していきたいと思えます。

国会開会中にも拘わらず連帯のご挨拶をいただきました



立憲民主党 野田代表
国民民主党 古川代表代行
社民党 福島党首

日本被団協がノーベル平和賞を受賞したにも関わらず、3月に開かれる「核兵器禁止条約の締約国会議」に日本政府が参加しようとしていることは極めて残念に思っている。夏の参議院選挙が勝負だと思っているので、選挙区・比例区全員当選に向けて退職者連合の皆さんの力をぜひ貸してほしい。

国民民主党 古川元久代表代行

国民民主党は、昨年の衆議院選挙で4倍の議席数となり、退職者連合の皆さんに感謝申し上げます。

国民民主党が昨年の選挙で躍進をできた最大の理由は、30年ぶりの賃上げが実

現できたにも関わらず、それを上回る物価上昇によって実質手取りが増えていない状況を打開するために、とにかく国民の皆さんの手取りを増やすことを考えて進めてまいりました。今後も、給料を上げて手取りを増やし、年金額を増やして厳しい生活状況・経済状況を改善していきたいと思っています。直面する目の前の課題にしっかりと向き合って改善していきたいと思えます。

社会民主党 福島みずほ党首

今国会は、今までのように閣議決定で強行採決をする自民党一強時代ではなくなったので、ひとつひとつ法律を整理させていくチャンスだと思っています。しかし、軍拡増税、教育費・社会保障費減額という大きな枠組みは変わっていない状況です。

やはりインフラ整備や医療・介護・教育などの公共財や社会共通資本を充実させて、命と暮らしを守るべきであると思っています。社民党も新たな戦争をつくらないために、平和運動、労働運動

地域運動において平和を守る運動を進めていきます。

**今後の取り組みについて
退職者連合 野田事務局長**



先日、沖縄県に行った時に米軍基地や自衛隊駐屯地が目に入ってきました。そこでは、机上では想像がつかないほど有事に備えた訓練や準備が行われていました。私は、沖縄県は決して戦後ではないと感じました。平和があつてこそその予算であり政策です。

そのことを念頭に来週以降、関係省庁・友好政党に対して要求実現に向けた要請行動を進めていきます。

日本退職者連合は微力ですが、熱意をもって全力で取り組んでいきますので、皆さんの御協力をよろしくお願ひします。

今後の取り組みの提起後に退職者連合石崎副事務局長より、「政策・制度要求実現2・13院内集会アピール」(案)を提起し、満場一致の拍手で確認しました。



最後に人見会長の音頭で政策・制度要求実現、参議院選挙勝利に向けて団結ガンバローで集会を締めくくりました。

**「第217回通常国会における予定法案(社会保障分野)について」
連合総合政策推進局 佐保昌一総合同局長**



今国会における連合としての法案対応についての考え方及び社会保障分野の法案審議状況などについてお話をいただきました。とくに年金制度改正法案やマクロ経済スライド方式、医療法等の関係について資料をもとに説明を受け、理解を深めました。